

事業所名		リアライ 忍ヶ丘校				支援プログラム				作成日		2025 年		9 月		1 日			
法人(事業所)理念		全てのメンバーの幸せを追求し、仕事を通じて人を育み、優しさで共に成長し、人と社会の味方であり続ける。																	
支援方針		卒業後の自立に向けて、コミュニケーションや日常生活スキルの向上、他者との関わり方について学び、実践することのできる環境を整えサポートする。																	
営業時間		平日	16	時	0	分から	19	時	0	分まで	学校休業日	10	時	0	分から	16	時	0	分まで
												13	時	0	分から	19	時	0	分まで
送迎実施の有無		あり		なし															
		支 援 内 容																	
本人支援	健康・生活	社会に出た時に困らないようにSSTや実践型授業を通じて、身だしなみや食事、掃除、睡眠など基本的な生活習慣を身につけ、健康的な生活づくりを目指します。 また、「できた」という体験を積み重ね、様々なことに挑戦できる環境を整えます。																	
	運動・感覚	手先を使った細かい作業を正確に行う能力や、掃除や調理道具などの日常的なものを正しく持ちこなすスキルの向上に取り組みます。 さらに、楽しみながらスポーツを行うことで、将来の就労に必要な最低限の体力を向上させることや集団活動の中での他者との関わり方を学ぶ機会を提供します。																	
	認知・行動	個々に合わせた課題や具体的な場面を設定し、取り組むことで実生活での行動に生かすことができるようにします。 さらに、余暇活動を通じて時間の概念を理解を促し、将来自立するために必要な時間の管理や就労した際の休憩の取り方などを学ぶ支援に取り組みます。																	
	言語 コミュニケーション	自分の思いや要求の伝え方など場面や相手の状況に応じた適切なやりとりを学びます、さらに、SSTや日常生活の会話の中で挨拶や適切な言葉遣いを増やし、 言葉の言い換えや伝わりやすさを考えることで、社会に出た時に困らない言語力を養います。																	
	人間関係 社会性	自立に向けて必要な社会スキルを身に付けていくことを目指し、自己理解、他者理解、気持ちの伝え方、助けの求め方について実践的に学びます。 また、外出イベント等を通して公共交通機関の使い方や公共の場面でもマナーや立ち振る舞いを知ってもらいます。																	
家族支援		家庭内での様子を知るために、定期的な面談を行います。 関係機関や学校との連携を定期的に行います。								移行支援		個別支援計画を元に担当国会議、面談を通して共有します。 学校や必要に応じて就労先、進学先と連携を取ります、							
地域支援・地域連携		図書館、体育館、公園など地域の公共施設を利用して活動を行います。								職員の質の向上		外部研修の受講や事業所内研修を実施し、職員の専門的な知識やスキル、支援の質の向上を図ります。							
主な行事等		お花見、観光ツアー、スポーツ大会、クッキング、季節に合わせたイベント																	